



主催者の挨拶

第12回日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会

—災害・感染症の予防と危機管理—

2002年1月に日本予防医学リスクマネジメント学会(JSRMPM)が発足してから12年が過ぎ、第12回学術総会を開催する運びとなりました。

本学会は発足当時から、医療におけるリスクマネジメントの理論と技術開発、医療安全対策、災害対策、感染症対策、環境安全対策、職場での健康安全対策、放射線安全対策、食品安全、その他地域の様々な安全対策といった、極めて広範な課題を取り上げ、活動を続けてまいりました。

過去10年間の間に、日本の医療界での安全問題は特に医療安全が中心的な課題であり、日本予防医学リスクマネジメント学会も2003年3月に開催した第1回学術総会より医療安全が中心的課題として取り上げ続けられています。その結果、日本予防医学リスクマネジメント学会の大半の会員が医療安全に専念される方々で構成されるに至りました。

医療安全とそれ以外の分野を専攻する会員はその職種が大変異なります。そのため、日本予防医学リスクマネジメント学会やその母体である国際医療リスクマネジメント学会日本人会員の強い要請により、日本医療安全学会といった医療安全だけを取り上げる独自の学術団体が派生するに至りました。

しかしながら、もともと日本予防医学リスクマネジメント学会には、医療安全以外に強い関心のある多数の会員が全国におられます。それらの方々から、医療安全以外の安全問題を日本予防医学リスクマネジメント学会で継続して検討を続けていきたいとの要望が全国から寄せられました。

以上の経緯から、日本予防医学リスクマネジメント学会は2013年度から医療安全以外の問題を取り上げる学会として継続するに至り、今回第12回学術総会を東京大学で開催する運びとなりました。総会テーマは「災害・感染症の予防と危機管理」ですが、一般演題としてはそれら以外の多分野の課題からご応募いただけます。

なお、総会の第2日目は国際医療リスクマネジメント学会がこれまで実施してきた病院災害シンポジウムと合同開催とし、遠路からの参加者の便を図ることにいたしました。

目的を新たにした日本予防医学リスクマネジメント学会が当該分野の全国会員の活動にお役にたてれば幸いです。

2013年10月

開催責任者

酒井 亮二

日本予防医学リスクマネジメント学会理事長

日本医療安全学会理事長

国際医療リスクマネジメント学会理事長

(C) 2013 JSRMPM